

# ダイヤルゲージ



## 安全に関するご注意

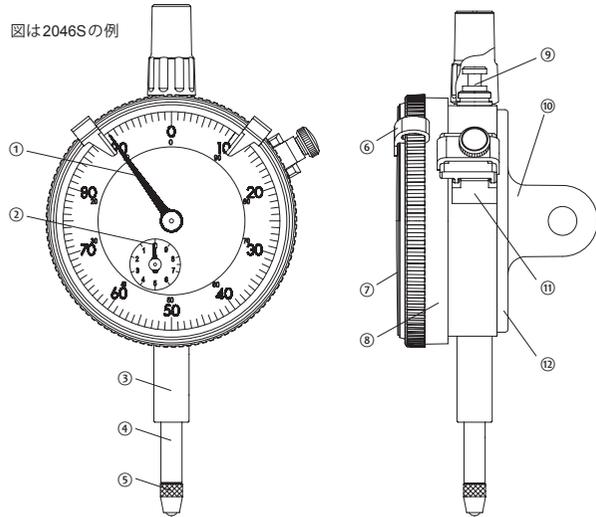
本商品のご使用にあたっては、記載の仕様・機能・使用上の注意に従ってください。それ以外で使用された場合、安全性を損なう恐れがあります。

### 注記

- ・分解、改造をしないでください。故障の原因となります。
- ・急激な温度変化のある場所での使用、保管は避けてください。また、ご使用の際は室温に十分なじませてください。
- ・湿気やほこりの多い場所での保管は避けてください。
- ・スピンドルを急激に動かしたり、横方向に力を加えないでください。
- ・落下などの急激なショックを与えたり、過度の力を加えないでください。
- ・落下等で衝撃が加わったときは、精度等を点検後使用してください。
- ・使用前にはゴミ、切り粉などを取り除いてください。
- ・クーラントなどの飛沫が直接かかる場所で使用される場合は、使用後に防錆処理を行ってください。錆は故障の原因になります。

## 1. 各部の名称

図は2046Sの例



- |         |          |
|---------|----------|
| ① 長針    | ⑦ 覆い板    |
| ② 短針    | ⑧ 外枠     |
| ③ ステム   | ⑨ ストップネジ |
| ④ スピンドル | ⑩ 耳金     |
| ⑤ 測定子   | ⑪ アリ溝    |
| ⑥ リミット針 | ⑫ 裏ぶた    |

## 2. 使用上のご注意

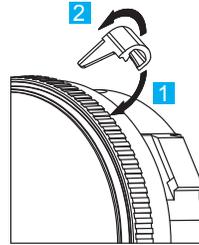
### 1) 使用前の確認

- ・本商品を使用する姿勢において、長針、短針、スピンドルの動きが滑らかであることを確認してください。また、長針や短針の静止点が設定した位置で安定していることを確認してください。
- ・測定子や裏ぶたが緩んでいないことを確認してください。

- ・取り付けは、本商品のステムまたは耳金でのみ行ってください。
- ・ステムにて取り付ける際には、締め付けすぎないように注意してください。ステムを強く締め付けると、スピンドルの作動が悪くなることがあります。
- ・保持具は、十分な剛性のあるものを使用してください。剛性が十分かの判断は、測定ワークに本商品の測定子を当て、外枠を指で上や下から軽く押し放したあと、長針が設定した位置に戻るかどうかで確認してください。
- ・温度変化のある場所で使用するときは、マスターゲージ等で頻繁に長針の設定位置を合わせてください。
- ・リリースを取り付けるためにストップネジを取り外す場合、スピンドルが下方向に動かないよう固定してください。ストップネジを外すと、歯車のかみ合いが外れる恐れがあります。

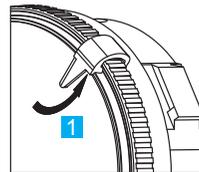
### 2) リミット針の取り付けと取り外し

- 取り付け



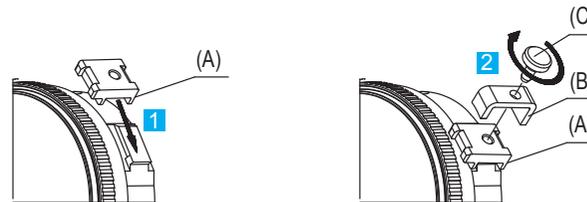
- 1 外枠にリミット針を掛ける
- 2 パチンと音がするまでリミット針を押す

- 取り外し



- 1 リミット針を矢印の方向に押し上げるようにして外す

### 3) 外枠クランプの取り付け [Tタイプ(■ ■ ■ ■ T、TB、T-10)は対象外]

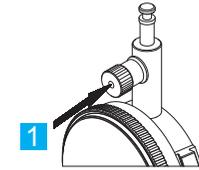


- 1 アリ溝にクランプブラケット(A)をはめ込む
- 2 クランプピタ(B)でクランプブラケット(A)を押さえ、クランプネジ(C)を締め込む

### 注記

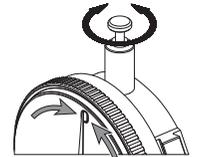
- ・本商品を横姿勢や逆姿勢で使用する場合、振動等でクランプネジが緩み、脱落することがありますので注意してください。

### 4) 置針の解除(2046S-80、2046SB-80のみ)



- 1 矢印方向に押し込む  
⇒置針が解除される

### 5) 指針の調整(2048S-10、2048SB-10のみ)



- 1 上部ツマミを回す

### 注記

上部ツマミを回すことで、スピンドルの上下動とは無関係に指針位置が調整できます。

## 3. 測定方法

- 1 基準ゲージまたはマスターを使って、基点を合わせる。短針がある場合には、短針の値も読み取る
- 2 必要に応じて外枠を回しゼロの位置を調整する
- 3 基点合わせと同じ姿勢、条件で測定ワークを測定する
- 4 長針の値を正面から読み取る。短針がある場合には、短針の値も読み取る

### 注記

勢いをつけて測定子を測定ワークに接触させると、測定ワークが変形し、測定結果に影響を及ぼす場合があります。

## 4. 使用後の注意

- ・スピンドル摺動面の汚れは、乾いた布がアルコールを少量含ませた布で拭き取ります。その際、スピンドルには注油しないでください。
- ・覆い板の汚れは、柔らかく乾いた布か、中性洗剤を少量含ませた布で拭き取ります。中性洗剤以外は使用しないでください。
- ・ダイヤルゲージの性能は、使用状況や保存状態に大きく左右されます。使用頻度・環境・保管方法などを考慮した上で社内規格などに周期を定め、定期的に点検することをお勧めします。
- ・弊社以外で修理や分解した場合の性能は弊社の保証外となります。

## 5. 仕様

- ・使用環境：温度 0℃～40℃、湿度 30%～70% (ただし、結露なきこと)

## 6. 引き取り修理について(有償)

以下のような不具合が発生した場合は、引き取り修理(有償)が必要です。最寄りの販売店または弊社営業所へご連絡ください。

- ・スピンドルの作動が悪い
- ・指針静止位置が大きくずれている(針飛び)
- ・精度不良